

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和8年第38週 (ARIのみ第37週) の発生動向

□ 全数報告の感染症 (38 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 3 例。
3 類感染症：報告なし。4 類感染症：レジオネラ症 1 例。
5 類感染症：梅毒 2 例、百日咳 2 例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	50歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			50歳代	男	肺結核	咳、痰、その他
			70歳代	男	肺結核	なし
4類	レジオネラ症	宮崎市	70歳代	男	肺炎型	肺炎
5類	梅毒	都城	30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	硬性下疳、梅毒性バラ疹
		高鍋	40歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	初期硬結、硬性下疳、梅毒性バラ疹
	百日咳	宮崎市	40歳代	女	—	持続する咳
		延岡	10歳代	男	—	持続する咳

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 241 人(定点当たり 16.3)で、前週比 98%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症、突発性発しん及び流行性角結膜炎で、減少した主な疾患はインフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎であった。

また、第 37 週の急性呼吸器感染症の報告総数は 1,143 人(定点当たり 40.8)で、前週比 111%と増加した。

【インフルエンザ】

報告数は 20 人(0.71)で、前週比 37%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.28)の約 2.6 倍であった。年齢群別は 20 歳未満が全体の約 6 割を占めた。

【RSウイルス感染症】

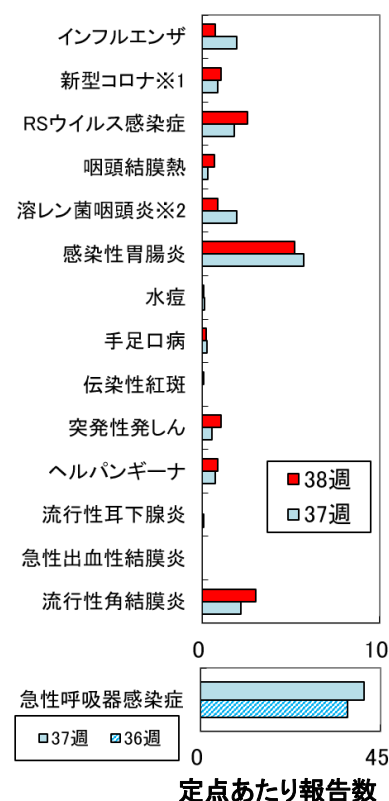
報告数は 38 人(2.5)で、前週比 141%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(4.4)の約 0.6 倍であった。年齢群別は 1 歳が全体の約半数を占めた。

【流行性角結膜炎】

報告数は 18 人(3.0)で、前週比 138%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(3.3)の約 0.9 倍であった。年齢群別は 3 歳以下が全体の約 3 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015—2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

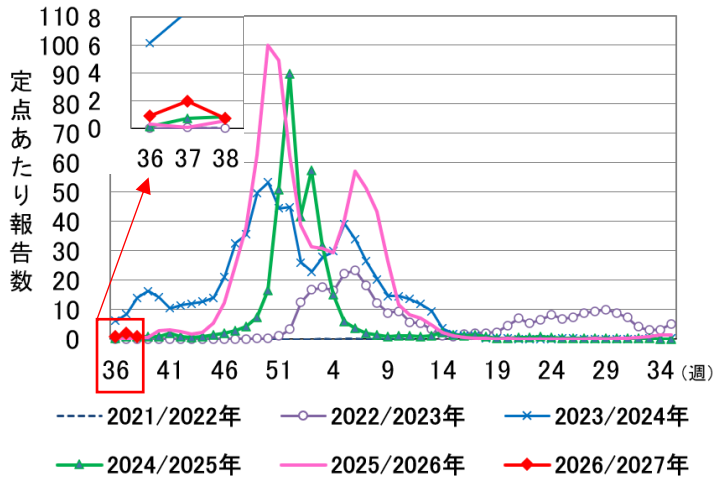
《前週との比較》



※1 新型コロナウイルス感染症

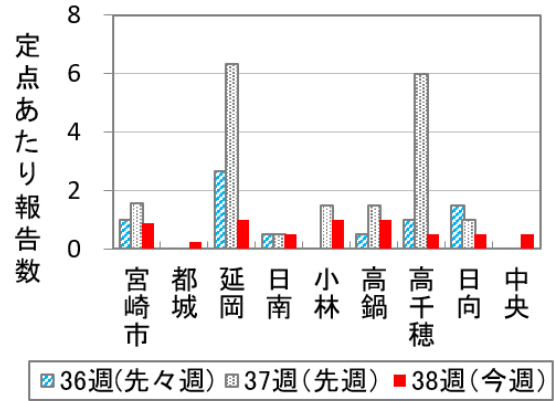
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

インフルエンザ 発生状況

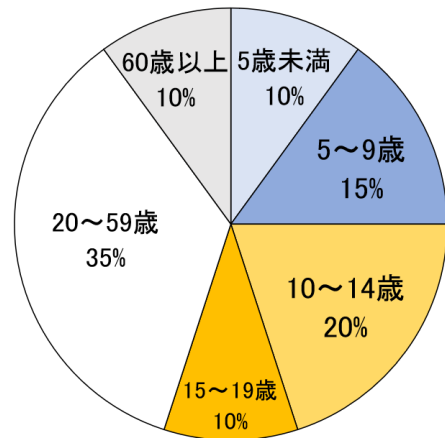


※2025 年第 15 週からは定点医療機関数が 58 から 28 に変更

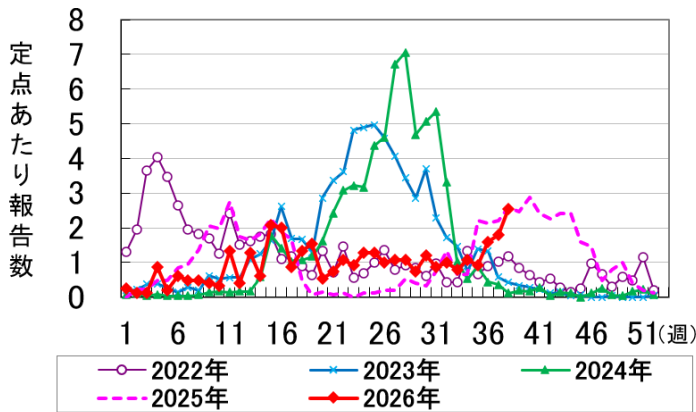
インフルエンザ 保健所別推移(3 週分)



インフルエンザ 年齢群別グラフ(第 38 週)

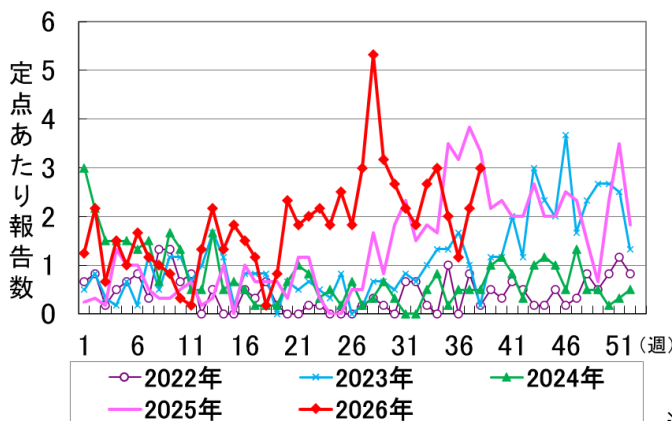


RSウイルス感染症 発生状況

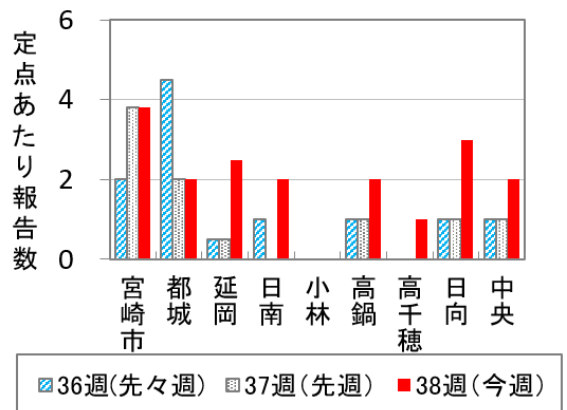


※2025 年第 15 週からは定点医療機関数が 36 から 15 に変更

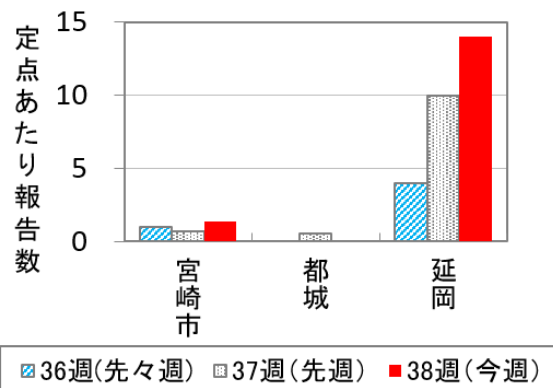
流行性角結膜炎 発生状況



RSウイルス感染症 保健所別推移(3 週分)



流行性角結膜炎 保健所別推移(3 週分)



※眼科定点医療機関は宮崎市、都城、延岡保健所管内のみです

★基幹定点からの報告★

報告なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	流行性角結膜炎(14.0)
日南	水痘(1.0)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

※流行警報レベル開始基準値※

・流行性角結膜炎(8)

※流行注意報レベル基準値※

・水痘(1)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

🌈 全国 2026 年第 37 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	265 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	148 例	腸チフス	1 例	パラチフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	5 例	A型肝炎	7 例	エキノкокクス症	1 例
	エムポックス	5 例	重症熱性血小板減少症候群	4 例	デング熱	5 例
	日本紅斑熱	25 例	レジオネラ症	57 例	レプトスピラ症	2 例
5類感染症	アメーバ赤痢	10 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	26 例
	急性脳炎	6 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	11 例
	後天性免疫不全症候群	11 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	6 例	侵襲性肺炎球菌感染症	17 例
	水痘(入院例)	9 例	多剤耐性緑膿菌感染症	3 例	梅毒	163 例
	播種性クリプトкокクス症	2 例	破傷風	3 例	百日咳	57 例
	麻しん	6 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 115%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症及びA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は手足口病であった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 115%と増加した。

インフルエンザの報告数は 20,697 人(5.5)で前週比 168%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.30)の約 18.6 倍であった。沖縄県(16.6)、茨城県(9.9)、東京都(9.5)、神奈川県(9.5)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 6 割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 9,122 人(2.4)で前週比 117%と増加した。長野県(6.0)、栃木県(5.5)、埼玉県(5.0)、新潟県(5.0)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 6 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 8,555 人(3.8)で前週比 98%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(3.3)の約 1.2 倍であった。大分県(7.3)、石川県(6.7)、島根県(6.6)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 2 歳が全体の約 3 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015—2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

疾病名		第37週	第38週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	54	20	8	1	3	1	2	2	1	1	1
	定点当り	1.93	0.71	0.89	0.25	1.00	0.50	1.00	1.00	0.50	0.50	0.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	25	30	2	2	3	2	2	9	8	2	
	定点当り	0.89	1.07	0.22	0.50	1.00	1.00	1.00	4.50	4.00	1.00	0.00
RSウイルス感染症	報告数	27	38	19	4	5	2		2	1	3	2
	定点当り	1.80	2.53	3.80	2.00	2.50	2.00	0.00	2.00	1.00	3.00	2.00
咽頭結膜熱	報告数	5	10	6	1	1		1			1	
	定点当り	0.33	0.67	1.20	0.50	0.50	0.00	1.00	0.00	0.00	1.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	29	13	4	3		2	3	1			
	定点当り	1.93	0.87	0.80	1.50	0.00	2.00	3.00	1.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	86	78	18	9	5	6	17	1		15	7
	定点当り	5.73	5.20	3.60	4.50	2.50	6.00	17.00	1.00	0.00	15.00	7.00
水痘	報告数	2	1				1					
	定点当り	0.13	0.07	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	4	3	1	1							1
	定点当り	0.27	0.20	0.20	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
伝染性紅斑	報告数		1				1					
	定点当り	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	8	16	7	2	1		2			3	1
	定点当り	0.53	1.07	1.40	1.00	0.50	0.00	2.00	0.00	0.00	3.00	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	11	13	1	2	5				5		
	定点当り	0.73	0.87	0.20	1.00	2.50	0.00	0.00	0.00	5.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1										
	定点当り	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	13	18	4		14						
	定点当り	2.17	3.00	1.33	0.00	14.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点当り	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

2026年 第37週(09月07日～09月13日)

		第36週	第37週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	1029	1143	340	134	200	67	85	62	68	127	60
	定点当り	36.75	40.82	37.78	33.50	66.67	33.50	42.50	31.00	34.00	63.50	30.00

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2026年 第01週～38週 保健所受理分)

2類感染症	結核	102例(3)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	47例				
4類感染症	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	3例	つつが虫病	4例
	日本紅斑熱	10例	レジオネラ症	13例(1)		
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2例
	急性脳炎	2例	クリプトスポリジウム症	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	8例	後天性免疫不全症候群	4例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例
	侵襲性肺炎球菌感染症	10例	水痘(入院例)	7例	多剤耐性緑膿菌感染症	2例
	梅毒	49例(2)	播種性クリプトコックス症	4例	破傷風	1例
	百日咳	54例(2)	麻しん	1例		

()内は今週届出分、再掲